

学校だより 9月 第5号
平成30年8月28日発行



おおやば

さいたま市立大谷場中学校
〒336-0016
さいたま市南区大谷場2-13-54
TEL 048(882)9962 FAX 048(811)1336
URL <http://oyaba-j.saitama-city.ed.jp/>
MAIL oyaba-j@saitama-city.ed.jp

学ぶということ

この夏は、熊谷市で最高気温の記録更新(41.1℃)がありました。また、広島県や秋田県等では豪雨による家屋の倒壊や河川の氾濫で貴重な命が失われました。心からお見舞いを申し上げます。さいたま市は、比較的自然災害が少ない地域ですが、大谷場中の生徒の皆さんには、緊急時に、適切な行動がとれる知恵と行動力を身に付けて欲しいと思います。

さて、生徒は、登校から帰路に着くまで、約10時間を学校で過ごします。在校中に、一番多くの時間を費やすのは授業です。授業に受け身で参加するか、積極的に取り組むかで学習の成果は大きく変わってきます。授業にどう参加するか、自らの学びをつくるとはどういうことなのかを生徒の皆さんにはしっかりと意識して欲しいと願っています。以前、小学生に「何で勉強するの」と聞いたら、『将来の役に立つから』、『人に役立つため』、『やりたい仕事編集者だから・・・』と答えてくれました。学ぶことの目的や意義は、人によって多様な考えがあると思います。私は、学ぶことの大切さについて、次のように考えます。

1 分かること、できることって、楽しくないですか。私の専門は理科です。理科では自然の事物現象を相手にしますが、調べれば調べるほど夢中になります。生物の体のつくりの素晴らしさ、いつ・どこで・だれが・何度やっても同じ条件なら同じ結果が得られる化学や物理の法則は、感動ものじゃないですか。学ぶと豊かになるとは思いませんか。

体育の授業でソフトボールに取り組む。友達が投げたボールを打とうと思うが、ボールはバットに触れもしない。何度やっても空振りばかり。手の平は痛くなってくるし、友達には申し訳ないし、気持ちまでなえてしまう。でも、「もう一度」を繰り返すうちに「バットにかすった。前に転がった。ジャストミートできるようになった」・・・その時の達成感。自分に対して誇らしい気持ち。ヤル気スイッチが入る時じゃないですか。

2 新幹線が開通したのは、54年前の東京オリンピックの時でした。修学旅行で新幹線に乗りながら車窓を眺めて、ふと考えたことがあります。新幹線なら、東京-京都間、約2.5時間だが、江戸時代に徒歩で東海道五十三次を歩いたら、何日、いや何週間かかったのだろうか。先人が知識を蓄積し、新しい発明を繰り返す中で、私たちの日々の生活が豊かになっていく。学ぶことで社会に貢献できると思いませんか。

3 国民的映画といわれる「男はつらいよ」の中の名ゼリフ。故 渥美 清 氏が扮する「フーテンの寅さん」シリーズの中に、甥の満男が寅さんに「何のために、勉強するのさ」と問いかけるシーンがあります。

寅さん：「人間長い間生きていりゃ、いろんなことにぶつかるだろう。そんな時、俺のように勉強していない奴は、振ったサイコロの出た目で決めるとか、その時の気分で決めるよりしょうがないな。ところが、勉強してきた奴は、自分の頭で、キチンと筋道を立てて、はて、こういう時はどうしたらいいかなと考える事が出来るんだ。だから、失敗が少ないのさ・・・」。

こんなニュアンスのことを言っていました。学ぶことで、自分の人生をしっかりとものにできると思いませんか。

校舎を「^{まなびや}学び舎」ということがあります。一人ひとりのもって生まれた能力を引き出すため、学びの楽しさを体感できるようにするために、大谷場中学校は、二学期、真剣に学び合う場である「学び舎」となることを目指します。 (校長 はすみ さとし)

